

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点		
理科		物理基礎		2			
指導目標	・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。						
	教科書			副教材等		添削指導	面接指導
	改訂新編物理基礎					6回	8 単位時間
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数		該当なし	
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	直線運動の世界					1	4月26日
2	力と運動の法則					2	7月12日
3	力学的エネルギー					3	7月22日
4	熱					4.5	10月27日
5	波					6.7	1月12日
6	電気、エネルギーとその利用					8	1月12日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		等速直線運動、自由落下、鉛直投射、水平投射について理解させる。				各学習センター	4月
2		慣性の法則、動・静止摩擦力について理解させる。				各学習センター	5月
3		仕事について理解させる。				各学習センター	6月
4		運動エネルギー、位置エネルギーについて理解させ、力学的エネルギーの法則についても理解させる。				各学習センター	7月
5		熱について理解させる。				各学習センター	10月
6		波について理解させる。				各学習センター	11月
7		電気について理解させる。				各学習センター	12月
8		エネルギー保存について理解させる。 将来のエネルギーについて、特に原子力について理解させる。 今後のエネルギーの利用と課題について考察させる。				各学習センター	1月
多様なメディアを利用した学習							
計画段階では実施予定なし							
試験							
回数	試験範囲					実施場所	実施日
1	レポート1～6					各学習センター	9月
2	レポート7～12					各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準							
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。							
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。							
その他							
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。							